

研究指導の概要

■ 応用理工学学位プログラム NIMS関係物質・材料工学サブプログラム

【課程：博士後期課程】

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等	
1 年 次	春	A	物質・材料工学分野の研究テーマに関して、研究手法の検討、研究方針の立て方について専門的な指導のもと、高度な研究法を実行することにより習得する。また、文献の調査と自身の研究の比較、研究計画の妥当性、具体化手法、さらには、研究課題の進捗状況について報告することにより、研究成果のまとめ方と発表方法を習得する。（物質・材料工学セミナーI、物質・材料工学特別研究IAの受講）	
		B		
		C		
	秋	A		実験・調査等の継続によるデータの蓄積、進捗状況の報告による総合的知識の獲得。研究の学会発表準備等。研究課題の進捗状況と問題点の抽出と解決方法について報告することにより、研究成果のまとめ方と発表方法を習得する。研究の進捗状況に応じ原著論文の投稿。（物質・材料工学特別研究IBの受講）
		B		
		C		
2 年 次	春	A	必要に応じた研究テーマの見直しおよびそれにもなう研究手法、研究方針の検討を行う。実験・調査等の継続によるデータの蓄積、進捗状況の報告による総合的知識の獲得。学会発表準備等。研究の進捗状況に応じ原著論文の投稿。（物質・材料工学セミナーII、物質・材料工学特別研究IIAの受講）	
		B		
		C		
	秋	A		実験・調査等の継続によるデータの蓄積、進捗状況の報告による総合的知識の獲得。研究の学会発表準備等。研究課題の進捗状況と問題点の抽出と解決方法について報告することにより、研究成果のまとめ方と発表方法を習得する。研究の進捗状況に応じ原著論文の投稿。（物質・材料工学特別研究IIBの受講）
		B		
		C		

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
3 年 次	春	A	<p>必要に応じた研究テーマの見直しおよびそれにとりまなう研究手法、研究方針の検討を行う。これまでの研究を批判的に検討し、不十分な部分の研究を補充する。実験・調査等の継続によるデータの蓄積、進捗状況の報告による総合的知識の獲得。学会発表準備等。研究の進捗状況に応じ原著論文の投稿。（物質・材料工学特別研究III Aの受講）</p>
		B	
		C	
	秋	A	<p>実験・調査等の継続によるデータの蓄積、学会発表による研究内容の公表、博士論文の題目の決定と博士論文作成準備。必要な手直しによる博士論文の完成に向けての最終的な確認を行う。予備審査会、本審査会、博士論文の提出、博士課程修了者の決定。（物質・材料工学特別研究III Bの受講）</p>
		B	
		C	